

姉妹都市アナコートレス市で親善交流

7月31日から8月9日まで、親善訪問団として中学生14名と引率者4名の計18名が、米国ワシントン州アナコートレス市（平成8年姉妹都市提携）を訪問しました。にかほ市発足後はじめての派遣となる訪問団は、市内の16家庭にホームステイしながら交流を深めました。



7月31日、成田空港から約8時間30分のフライトで、同日の午前9時30分にシアトルの空港に到着。現地の気温は28度でしたが、湿度が低いために暑さは

感じず、とても心地よい避暑地のような気候でした。アナコートレス市生徒らの熱烈な出迎えに圧倒され、生徒たちは、ぎこちなく自己紹介を終えました。バスの中や歓迎パーティーでも、生徒同士の会話はほとんどなく、これからの一週間が心配された初日となりました。

8月3日、戦時中に使われていた水陸両用車でシアトル市内観光とマリナーナイツ対レッドソックスのメジャーリーグ観戦。相変わらず英語での会話は苦手な様子でしたが、本市生徒による「話すことはできないが、相手の言つてることは何となく分かるようになった」と次第に慣れてきた様子でした。生徒たちの間では、電子辞書が大活躍

る場合は、必ず自分の住んでいる地域の保健センターに連絡してください。

リフレッシュ教室

①市外ウオーキング
期日 9月11日(火)
受付 午前9時～9時30分
集合場所 象潟保健センター
行き先 南由利原高原

②玄米ニギニギ体操・ストレッチ
期日 9月18日(火)
受付 午前9時30分～10時
会場 象潟保健センター

貯蓄体操教室
ボリオ予防接種

期日 9月3日(月)、10日(月)、25日(火)
時間 午後1時30分～
会場 金浦保健センター
持ち物 バスタオル

精神保健相談

期日 9月12日(火)、19日(火)
時間 1回目：午後2時～3時
会場 象潟保健センター
申込期限 12日(金)まで、19日(火)～14日(金)までスマイルヘル

※相談者や内容についての情報は他にもれることはありません。本人以外で家族の方の相談でも結構です。

こころの相談

期日 9月28日(金)
時間 ①午前10時～11時
②午前11時～正午
会場 象潟保健センター
申込期限 21日(金)までスマイルヘル

新しい命に会いたい
(秋田県不妊治療支援のご案内)

金活動で、今年度もにかほ市結核予防婦人会が主体となり複十字シール募金が始まります。

金浦・象潟地域では9月30日まで結核予防婦人会の方々が、複十字シール募金で各世帯を伺いますのでご協力お願いします。

県では、不妊治療の経済的な負担を軽減するため、特定の不孕治療（体外受精および顎微受精）を受けた夫婦に対し、治療の一助を助成しています。

助成内容 1組の夫婦に対し、一年度に治療1回当たり10万円を限度として2回まで助成します。

助成期間 通算5年間

問合先 由利地域振興局 福祉環境部 健康・予防課
☎ 22-4122

会場 象潟保健センター
対象 平成15年4月2日～19年4月1日生まれ
定員 20名
材料費 200円
持ち物 子どもが写っている写真
申込期限 20日(木)まで象潟保健センターへ

▽手づくり教室
簡単につくるアルバム作りをします。ちょっとした工夫で素敵なアルバムになりますよ。

期日 9月25日(火)
受付 午前9時30分～

◆仁賀保地域
庄司翔流(芦田)、今野朝陽(平沢)、工藤明依(室沢)、高橋紀久(室沢)、須田唯斗(横根)、齋藤幸征(平沢)、伊藤大智(田沢)、佐藤優衣(鈴木)、三浦伶大馬(ひまわり)、佐々木拓海(馬場)栗田滉大(鈴木)

福祉・健康

仁賀保保健センター
(スマイル内)
金浦保健センター
象潟保健センター
☎ 32-3007
☎ 38-4200
☎ 43-7501

対象 生後3ヶ月以上で定期のない乳幼児
会場 象潟保健センター
期日 9月13日(木)
受付 午後0時30分～1時
回数 (2回) を終了して金浦地域の方で接種を希望する

複十字シール募金が
始まります

へ

精神保健相談

こころの相談

新しい命に会いたい

△手づくり教室

親と子のニコニコクラブ

にかほ市子育て支援事業

始まります

複十字シール運動は、世界中の結核を撲滅し、肺がんやその他の胸部疾患をなくすため、事業資金を集めることを目的として世界80カ国で行われている資

していました。

8月4日、アナコートレス市の夏最大のイベントである「アートフェスティバル」は、市内の道路を800mも封鎖してメイン会場にしており、生徒たちはその規模の大きさや芸術作品の出店の多さに驚いていました。

8月7日、市内の警察署と消防署を見学後、中学校で日米生徒座談会が行われ、活発な意見交換に、この座談会が一番楽しかったという生徒もいました。

8月8日、別れの朝、意外にも涙でのお別れシーンはない。約10時間のフライトで8月9日、午後2時40分に成田空港到着。涼しいアナコートレス市の気候に比べ、じつとりとした暑さに帰国したことを実感しました。



アナコートレス市内の警官と交流を深める訪問団員たち



素晴らしい出会いを
ありがとうございます…来年の再会を楽しみに！

今回の訪問団生徒10人は中学1年生でしたので、ほとんど英語が分からない中でも、お互いに理解しようとする気持ちがあれば世界の人々と通じ合えることを体験したはずです。そして、言葉や文化が理解できれば、もうと分かり合えるということ。そのためには学校の勉強が大切であり、日本社会や世界にも日本語が分からぬれば、この交換の成果の一つとなります。また、10日間家族と離れて暮らし、家族の大切さも実感した様子でした。生徒一人ひとりのさまざまな体験がお金では買えない、言葉でも表現できないくらいの素晴らしい価値のあるものだと確信しています。

訪問を終えて